

西地区 意見一覧

問7：お米以外の作物を生産・出荷している品目

番号	品目
1	野菜（夏野菜中心）
2	イチジク
3	畑
4	芋
5	季節野菜（きゅうり、なす、ピーマン、キャベツ、大根等）
6	野菜
7	大豆、コシヒカリ

問9：地域農業を維持していくために、今後必要なこと

番号	意見
1	他の自治体との意見交換（情報交換）
2	担い手の育成、担い手のやりたい農業の支援
3	人（農業をしてみたいという人）
4	ブランド化した高価格米の生産
5	米価の高騰化
6	農家をしていない
7	いずれにしても、団塊世代もこれ以上あてにできない。坂本地区もハスの田が跡継ぎがなく荒れてきている。
8	役場の本気度
9	ブランド化、宣伝など（例：金の米とか）
10	生産コスト>収益となる仕組み
11	無理

問10：地域農業の将来に対しての期待すること、不安に感じること

番号	意見
1	問9の①～④は同じことを言っています。ぜひ推進してください。営農組合による耕作放棄地の活用を考えてもらいたい。問9の⑪と⑫を国策として掲げて破綻した国もあるので注意が必要。
2	自然的条件により又後継者もいないので営農組合にお願いしたいと思います。 ☆長南のお米を食用したいので。
3	・個人経営には限界もあります。（資金、担い手他） ・生産して作物の販売等の支援他
4	水稻生産を早々に縮小し、特産性の高い商品の開発。特産品の栽培から商品化さらに販売までを町を上げて取り組み。
5	食料の自給率を高める必要が、叫ばれる中、将来の担い手不足があり、今後どうなるのか非常に心配だと思う。
6	農産物を直売所が計画されるが、消費者的に考えると地域の農産物だけでなく全国の各種農産物が手に入るような店舗構成を望みたい。
7	高齢化が進み、営農組合が継続できるのか不安。新しい人材確保を最優先に考えたほうがいい。農業は1年通しての作業の為、経験が必要になるので興味のある人にはどんどん手伝ってもらおう。
8	今後、後継者がいないので不安に感じます。
9	米価が安い。農業の赤字。いくら努力しても黒字にならず、やる気がなくなる。
10	問9の全てに関して不安である。
11	休耕が多く鳥獣害対策を万全にしてください。。また、休耕地管理を所有者に指導してください。
12	荒地が増加してくること、その管理ができないこと。
13	耕地整理はしていないし、電気柵をしてあっても獣は入るし、不安だらけです。誰も借りたり作ったりしてくれる人はいないでしょう。
14	獣害対策は深刻な状況。個人農家への支援が必須と考えます。電気柵や金網を無償提供してほしいです。なお、長南米はおいしい米なので、滅することのなきよう、お考えいただきたいと思います。
15	もう日本の小規模農家の将来は管理・経営共に不可能に感じます。
16	生産者の高齢化が問題
17	将来への期待も希望もありません。手立てはすでに遅いと思います。
18	農地に対し不安でいっぱいです。ぜひ問9の実現に期待したいと思います。

番号	意見
19	担い手の集約は、早急に取り組む努力が必要です。行政が中心となり、将来長南町としてもブランド作物等推進していくことが大事だと思います。水稻には限界がきており、高齢化に伴う担い手不足は深刻でもあります。農業維持として、収益の高い町としてのブランドに着手し、白子町に負けない農業行政として取り組みをお願いします。また、県普及所との連携も含め、営農組合の発足にも力を入れてください。一点、JAグループは営農指導体制はバラバラであり協力はしない方がいいと思います。
20	農地の借り手がなくて草刈りしないわけにはいかず、高齢なうえ、体調悪く大変困っている。
21	私も高齢で何もできないのでやる気はありません。ごめんなさい。
22	現在の市野々組合で耕作者が現状5名です。 私が若いほうなので、5年10年後は組合は耕作者もなしで、部落外の担い手がいなければ終わりです。
23	当部落は今から60年前に小規模土地改良が実施され15名くらいの人々がまとまり耕作をしていました。しかし現在は6名の人しか農業をやっていない状況であります。不安を言えば、後継者もいなく、今の農地を守っていくには大変厳しい状況です。ぜひ、行政においてアンケート調査をもとに地域住民と話し合いを開催し、担い手支援に力を入れてほしいです。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょなマルシュ整備→「道の駅」化して、地元野菜等の販路を作る。 ・収入1000万の農業→茂原樟陽と連携し1000万の農業経営を目指す（役場がコーディネート） ・営農組合の高齢化が心配 ・集約化しても担い手不足→法人化 ・長南に合った特産物の開発
25	耕作放棄地が増えることで、害獣や自然災害に対して悪影響が予想されます。これからがとっても怖いです。
26	後継者がなく今後農地の処分方法。
27	自然災害に遭ったときの対策、機械の準備費用が問題
28	<p>今後、個人で農業を維持していくのは、地域の高齢化により難しい。若い人へ農業の魅力を伝え、育てていくことで、活性化していくのではないかと。長南町に住んでいる人だけでなく、町外の人達にも担い手を受け入れていくことも必要ではないかと。</p> <p>地球温暖化により、気候変動が世界に広がりつつあり、日本が他の国に食料を依存しないことが、今後自国の食料安定に繋がっていくと考える。</p>
29	イノシシ対策、生産者への補助及び機械の整備
30	<p>私の住んでいる所は周りが山林で耕地面積が狭く、土地改良で効率の良い耕地にするには無理のような気がします。山林を利用するような事業を考えてはいかがなものでしょうか。</p> <p>我が地域には若者が農業を選ぶ者はおりません。</p> <p>自然に恵まれた長南町、そして我が地域が荒廃して行くのを目の当たりにし、とても残念でなりません。山林の活用を希望します。</p>
31	町内 市野々（三堀地区は山間の為耕作不能地）

番号	意見
32	現在の農業は収益性が低いため就農者がいない。生産から販売まで一貫し収益性を高める。
33	近所の方に田んぼを依頼していたが、高齢により今年から頼めなくなり、営農組合に相談したが断られる。 県庁の方は真摯に対応してくれたが、町役場は建設的なアドバイスは頂けず、固定資産税を払い続け草刈りをやり続けるしかないと言われとても残念でした。 現状の説明するだけの職員の対応に触れて暗澹たる気持ちになりました。 せめて農業振興地域は解除して選択肢が広がるようにしてください。
34	過疎化対策（農業以外の面でも）なしでは農業も地域も将来に期待できない。
35	地域にかかわる事業関係の仕事が多すぎる。（消防、交通安全員・・・その他）
36	後継者不足の不安。米価の安さからの農業離れ。鳥獣害の被害等の不安を感じます。
37	自給自足できる仕組み（町内・県内）、輸入できなくなるかもしれない食べ物を自国で生産する仕組み。
38	・若者の減少が続いているので、担い手が確保できるか不安。 ・他の職業と同等以上の所得を得られる農業経営を指導できる組織の整備も検討する必要があると思う。
39	うちは後継者がいないので農地管理していくのも難しい。買い手があれば売りたい。地域農業については、人がいなく、このままだと高齢化で人がいなく成り立たなくなると思う。
40	・輸入に頼らず自給自足の確立（国防は軍備ではない）。米以外、小麦、大豆、とうもろこしなどの生産。 ・問題は農地区画のできない（土地改良していない）山間地の活用。鳥獣との棲み分けの必要性等々。 ・例えば、今の田んぼは耕作できなくなれば土地改良区域外のため放棄せざるを得ない。鳥獣の住処になってしまう（土地改良の計画時は田舎で暮らしていなかったので内容をよく理解せず、今後悔しています）。 ・谷田の活用方法は、西部工場団地の跡地を実験場所にしたらどうでしょうか？
41	地域計画ができて、その農地を耕作、運営をしてもらえる個人・団体等がいなければ、絵に描いた餅になってしまうので、計画作成と同時に運営できる人材の育成も必要だと思います。農業経営をする中で、一番は一家が生活できる収益を得られなければ成り立たないので、耕作面積等十分な検討をお願いしたい。
42	今の営農組合方式でよいので不安に感じることはありません。
43	鳥獣害被害のため畑作が出来なくなり困っています。道の駅を早く計画してもらいたいです
44	荒れている農地にイノシシ等来るので不安です。
45	担い手の育成は？

番号	意見
46	休耕（転作）は、やめてほしいです。
47	今の農業なんて不安しかない。将来なんて期待できない。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域農業を今維持している者が高齢であり、次の世代、若い者への世代交代をする必要がある。 ・次世代農業へ交代したいのであれば、現在従事している者と次の担い手である若い者を交えた意見交換が必要であり、若者の意見も聞く必要がある。 ・現代農業でやることは無理であり、最先端技術を使用できる若いものと一緒にやるという気持ちで年寄りが寄り添わなければならない。 ・まずは、行政が農家の意見を聞く、若い者の意見を聞く、今、農業をやっている高齢者を補助する、次に、農業をやりたいと思っている若い者を補助する。
48	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、水路の整備 ・ため池の整備
49	兼業農家、自給的農家、小規模農家の存在を大切に重視してほしい（ちょっとした小遣い程度の稼ぎがあれば良い） 農地の集積、集約による大農家主義は、その他の元々の小規模農家にとってはその存在意義が失われ、家を継がず都会へ流れてしまう（人口減）。 集積・集約といっても整備された土地が中心であるならば耕作放棄地はさらに増えるのではないか・・・
50	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害（農地）への対応と保全。 ・耕作放棄地への対応と活用
51	<ul style="list-style-type: none"> ・跡継ぎがないので部落自治が成り立たなくなる。10年後には。 ・土地ごとに合った作物への転換。米だけではだめだ。 ・湿田、日照不足地にはもうお金をかけない。土地改良しても駄目。 ・他町村のように住宅地を作って人を増やしたら。 ・農協まかせの農政ではだめだ。 ・農振法該当地の見直し→土地単価が上がらない。 ・農村の過疎化は国の方針。都会に人口を集約するため。 ・どうして長南町は、過疎化したのか。今から若い人を就農させるのは無理だ。スーパーマーケットひとつない町では、年寄りも困る。町外に出なければ、食料品も買うことができない。
52	農業設備の老朽化が不安。
53	10年後の後継者がいないと思うと不安がある。自宅前の農地なので耕作放棄地にはしたくない。
54	茗荷沢地区は、区画整備がされておらずあと数年でほとんどの農地が荒廃すると思われますので、早急に整備する必要があると考えます。区画整備に反対した人たちは、現在、おりませんので、何としましてもお願いします（河川敷が整備されているので対応可能）
55	集落法人の早期の設立と運営を望みたい

番号	意見
56	体力限界です。86歳 農業をやりたい人がおりましたらお願いします。
57	①農業後継者がいないため、どの部落でも同じだと思いが老人になりやりたくてもできない。 ②農地を荒らすわけにはゆかない。 ③どうしても共同でこの機関産業である農業を維持してほしい。
58	高齢化に伴い草刈等、地域の共同作業が出来なくなっている。
59	①小面積の耕作者も農機具は全部個人で所有しているため、農機具の購入、修理の費用が多くなり農業をやめる人が多くなってしまふ。 ②今後は法人組織にしないといけない。
60	太陽光パネルを設置予定している。
61	これからの農業は大変だと思います。長南町の農業をよろしくお願いします。
62	市場経済は需要と供給のバランスの上で成り立っている。この先の需要を考えれば少子化で食べ手がないのに稲作をしても時代のニーズに合わない。 時代背景をよくよく考えること。
63	近い将来維持管理出来なくなるので地元で利益がでる様な利用を考えたいし、考えてほしい。
64	農地の維持管理。
65	家族として 耕作をやめて休耕田の管理の大変な事電気柵の下の草刈り 休耕田の草刈りの大変な事一年の内最低3回の草刈り 高齢者にはとても大変どうなるの今後心配
66	我が家の前に〇〇さんが移住してきて、有機農業をしています。この関係で、〇〇さんや〇〇さんと知り合いとなり、ちょっと先行きが明るいです。 報恩寺地区は、西部営農組合と入り耕作者が約75%耕作しています。農地所有者が28名いても、耕作している家は7軒のみです。そう永くない将来これらの方が撤退するのが不安です。特に報恩寺は西部営農組合の区域外なので、余計です。 3年前から営農組合を立ち上げようとしたが、まとまらず停滞中です。
67	地域農業（稲作）にはあまり期待できないので、地域にあった作物へ転換して収益を上げることに期待する。
68	農業を担う団体、個人の確保が必要。
69	耕作できない土地の維持管理（今後高齢化してますます出来なくなり、子供や孫が維持管理していくことは難しい）